

令和5年度 第7回上郷地域会議 会議録

- 日 時 令和5年10月17日（火） 午後7時から8時55分まで
- 場 所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
- 出席者 委 員 : 16名
事務局（上郷支所）：近藤支所長、小船担当長、伊藤主査

■次 第

「豊田市民の誓い」唱和

- 1 会長あいさつ
- 2 協議事項
 - (1) 令和5年度第6回上郷地域会議の会議録について
 - (2) 答申に向けた協議について
- 3 報告事項
 - (1) 提言に対する回答について
 - (2) 第10期地域会議委員の選考について
 - (3) 上郷地区「防犯の日」について
 - (4) 上郷地域バスについて
- 4 事務連絡
 - (1) 費用弁償について
 - (2) 次回の地域会議日程について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 協議事項
 - (1) 令和5年度第6回上郷地域会議の会議録について

・第6回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た

【質問・意見】

- ・前回会議で矢作川の整備について質問したところ、下流から順次整備している旨回答があったが、陣中・鵜の首周辺の畝部より上流が整備されている。回答について訂正はないのか。
⇒（事務局）訂正はない。
（委員）畝部周辺は10～20年ほど前に既に整備されたのではないか。
- ・液状化対策について質問したところ、液状化対策は難しい旨回答があったが、市で対応が難しいのであれば、県や国にどう働きかけているのか、ということが聞きたかった。

- (2) 答申に向けた協議について
 - ① 事務局説明

・答申に向けた協議について、事務局から説明が行われた。

② 全体協議

- ・各委員の意見、質問に対する回答を各自で確認した後、第9次豊田市総合計画に掲げる本市のまちづくりの方向性である「(仮称)ミライ構想」の「めざす姿やまちづくりの基本的な考え方」、「都市構造について」について、全体で意見を出し合った。
- ・出てきた意見は事務局でまとめ、次回の地域会議で内容を整理していくこととした。

【質問・意見】

- ・まちづくりの基本的な考え方の中の「あるものを生かす」という考え方は実行できるといいなと思う。今までは「ないものを作る」という考え方であったと思うが、例えば活用されていない校舎の一部屋を利活用するというのもこれからは考えていく必要がある。
⇒(委員)閉校になった名古屋市の旧那古野小学校がインキュベーション施設としてリノベーションされた例もある。
- ・市に対する要望はいろいろとあるが、言葉だけで説明されてもよく分からない。
- ・方向性が漠然としていて抽象的。具体的にどういうまちづくりを目指すのかがもう少し分かると良い。また、個別の実践計画を作成する際には、豊田市全体だけでなく上郷地区の方向性を考慮した計画を作成してほしい。
- ・3つの「変える」=固定観念にとらわれることなく、常に現状の変化に適応した意識改革、同時に、過去も振り返りつつ築き上げてきた歴史、実績との調和も必要である(資料では、「調和」が「調査」となっていた)。
- ・豊田市が考える「多様な主体が楽しむまちづくり」、「行政がリードするまちづくり」とは具体的には何を言っているのか。他自治体の例があるなら、それを出してもらえるとイメージしやすい。
- ・多様な主体が楽しむまちづくりの多様な主体とは、多様な年代・団体という捉え方でよいのか。
⇒(委員)「多様な主体が楽しむまちづくり」、「行政がリードするまちづくり」とは何なのか事務局を通して担当課に確認する。
- ・将来に向けての計画に対する考え方を、まずは自分たちではなく中学生など若い世代にこれから豊田市がどういうまちになっていてもらいたいかを投げかけて、出てきた意見に対して経験のある自分たちが意見を付け加えていく方がいいのではないかと。また、文章が抽象的で、これに対して自分たちがいろいろと考えても議論の過程の中で、あれはダメ、これはダメとなつては話し合いが無駄になってしまう。
⇒(委員)方向性が分かりづらい、もう少し具体的な内容を盛り込んでほしいということを答申で伝えていかないと他の市民の方も同じ感想を持つと思う。また、中学生などの若い世代については、豊田市子ども会議で話し合っているため、そこでの話も地域会議にフィードバックしても

らえるとよい。

- ・10年のストーリーをA3資料1枚で表現しようと思うと、どうしても抽象的な表現になってしまうので仕方ないと思う。計画の方向性がばらつかないようにベクトルがしっかり定まっていれば問題ないのではないかと。計画が実践できるようマイルストーンとスパイラルマップがみえると具体的な話ができるが、それはまだ先の話で、現段階ではここまでしか書けないのではないかと。
- ・第8次総合計画からの継承とあるが、第8次の取組の中で何ができて何ができていないのか、できていないことについては、その理由は何なのかをはっきりさせると継承についても理解しやすいのではないかと。
- ・文章だけでなくイラストやアニメーション動画を活用して若い世代が理解しやすい工夫が必要ではないかと。
- ・行政は、豊田市は合衆国だという認識を持ってほしい。
- ・旭の「つくラッセル」等、えきちかではない地域が元気に活動している。上郷は上郷の良さを生かしてみんなでつながれるといいなと思う。
- ・豊田市は多くの町村と合併したが、それぞれの地区を活かすということを都市構造に盛り込んでもらいたい。
- ・「ヒト・モノの移動に欠かせない交通ネットワークの強化」の交通ネットワークの強化とは具体的にはどういった強化を想定しているか。国道301号線のような道路環境の整備を想定しているのではないかと推測するが、それ以外にも公共交通機関の整備ができないか。
- ・「えきちか居住誘導エリア」は、確かに駅の近くに住めば鉄道等のサービスが受けやすいだろうが、現状駅の近くではない地域に住んでいるものは、駅の近くに引っ越せという考え方なのか。
- ・先日事務局を通して質問した回答について、次期総合計画期間中についても、引き続き自動車産業が議論の中心になっていくと想定しているとしながらも、一方で過度に自動車に依存したまちの構造は様々な課題を招くおそれがあると回答がきている。産業を肯定しながらも産業から生まれた移動手段を否定しており矛盾していないか。
- ・第9次総合計画を作成する段階で、これまでの反省点や良かった点は出ているか。
⇒（事務局）第8次総合計画の中にある実践計画は、毎年計画に対する評価は行っている。
- ・「えきちか」とは、駅に地下が作られるのか。
⇒（事務局）駅地下ではなく、駅の近くという意味である。

3 報告事項

- (1) 提言に対する回答について
- (2) 第10期地域会議委員の選考について
- (3) 上郷地区「防犯の日」について
- (4) 上郷地域バスについて

上記について、事務局から報告がされた。

【質問・意見】

- ・「提言に対する回答について」の県道239号線の1本南側の道路の白線の引き直しの話の中で、歩道を広げることは、朝、上郷中学校生が自転車で通学する際には良いことだと思うが、現状整備されている歩道で通学することはできないのか（整備済みの歩道を自転車で朝通学する際には右側通行となる）。
⇒（事務局）交通安全防犯課が現場を確認した結果、ひとまず現段階で実施できることを実施した。通学路のルールについては、地域や学校等との協議が必要になるかと思う。
- ・提言書の提出の際に、副市長から企業等との避難所の協定は市のひな型を使用すると良い、県道の街路樹の伐採もすぐにできると言われたので、そこは今一度よく確認してもらいたい。
- ・自分の居住する自治区で地区内の民間事業施設と避難に関する協定を結ぶ話をしているが、当該施設も水没エリアに入っており、市からは有事の際は当該施設から避難するように言われているとのこと。市から避難するように言われた場所に避難してくるのはおかしいと当該施設の管理者から言われた。
⇒（委員）あくまでも緊急退避所という扱いではあるが、畝部小学校や区民会館等退避所をたくさん作っていきたいという発想で良いのではないか。

4 事務連絡

(1) 費用弁償について

(2) 次回の地域会議日程について

◆次回会議開催

◇令和5年度 第8回地域会議

と き：令和5年11月21日（火） 午後7時から

ところ：上郷交流館 2階 ふれあいホール